

21 世紀を迎えるミレニアムイベント事業で、中心市街地の起爆剤

足 利 商 工 会 議 所

機関名	足利商工会議所		
所在地	栃木県足利市田中町 3 1 - 8		
電話番号	0 2 8 4 - 7 1 - 1 3 5 4		
地域概要	(1)管内人口 1 6 万 1 千人	(2)管内商店街数 1 5	商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 5	(2)会員数 3 1 5	商店
	(3)空店舗率 1 1 . 4 %	(4)大型店空き店舗 1	店 (空地)
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 12 年度	商店街活性化対策事業	e ビジネス、高齢者対応事業、チャレンジモール イベント
	総事業費	23,074 千円

【事業実施内容】

1. 背景

足利市は、足利尊氏の故郷として知られ、またわが国最古の学校「足利学校」の史跡も残る長い歴史の中で文化、伝統を育んできた。

人口約 16 万あまりの栃木県第 2 の都市である。また、足利は繊維の街で明治・大正期には、「足利銘仙」といえば全国で知られ、街の中心には「買場」という今で言えば見本市会場があり全国から業者が集まり日本の繊維産業をリードしてきた。

かつては街の“顔”だった中心市街地も繊維産地として元気がなくなり、大型店の出店、モータリゼーションの進展等さまざまな要因により、各種の機能を培ってきた中心街が地盤沈下し、まさに街のアイデンティティの危機に直面した。

この中で平成 10 年 12 月に、賑わいと活力ある「街の顔」を取り戻し、次世代に向けた中心街のまちづくりを推進するための「足利市中心市街地活性化基本計画」が作成され、これを受けて足利商工会議所では商業タウン・マネージメント計画策定事業に取り組み、実施可



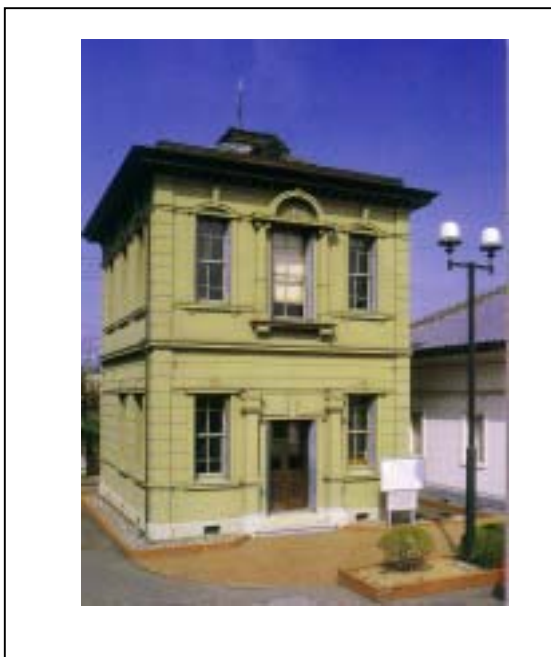
足利市駅周辺図

能な TMO のあり方、方向性を研究し、その結果、NPO の市民組織「足利まちづくりセンターVAN - NOOGA」や若手経営者による「足利まちづくり会社」設立等の進展をみた。

しかし、21 世紀を見据えた当市の中心街の再生と活性化を考察すると、大型店が集積する河南地区の集客による対面販売、ディスカウント競争に対し、中心商店街は河南地区にない新しい商業のあり方として、本事業ではインターネットなどの情報ツールを使ったネットサービスや情報の発信拠点としてバーチャル商店街及び各企業への検索、アクセスを容易にさせ件数の増加を図るためのリンクシステムを構築することとなった。

また、2 つ目の事業として高齢化社会の対応として、高齢者比率の高い当市の中心街では、この高齢者マーケットの活用から健康、福祉を重点とした商品とサービスの提供等を行うものである。

さらに、3 つ目の事業として街なかを“舞台”とした市民交流の新たな展開をはかることの必要性から、平成 12 年当商工会議所の創立 60 周年、また、21 世紀を迎える平成 13 年 1 月 1 日が当市の市制施行 80 周年の記念すべき日であることから、これをミレニアムイベント「Beautiful・Ashikaga・Square (BAS・バス)」事業として実施し、中心街活性化の起爆剤とすることとした。



「織物資料館」旧木村織物工場の事務所棟
同工場は明治の足利高級絹織を代表する工場だった。現在、資料館では当時の織物サンプル、交易記録が残り足利の当時の繁栄ぶりを知ることができる(「足利モダニズム遺産の活用と地域活性化(平成 12 年度)」: 足利商工会議所より)

2. 事業内容

(1) リンクタワー21 事業 (実施期間: 平成 12 年 10 月～平成 13 年 3 月)

1) リンクタワー21 システムとバーチャル商店街区等の構築

自社の製品・商品・サービス、受発注などの e-ビジネスを促進することを目的として 10 月 15 日オープン。

2) バーチャル・アリーナ・イベントの実施とギャラリーの活用

リンクタワーに併設して「足利アリーナ」を併設した。「アリーナスポット(各種イベント紹介)」「ギャラリースポット(写真展などのギャラリー)」「ネットワークスポット(公共機関等のリンクページ)」から構成された。

3) インターネット技術習得、向上をはかるための研修会の実施など。

ホームページ作成の基礎講習会の開催

リンクタワー21 のしくみ(期間中に約 3,500 件のアクセスがあった)

あしかがリンクタワー21のしくみ、利用方法

あしかがリンクタワー21では、全世界から各企業への検索・アクセスを容易にし、ホームページへのアクセス数の増加を図るための新たなリンクシステムを構築いたします。また、わたらせテレビによるインターネット事業も開始され、ネットへの接続経費の大幅軽減や機能も大幅に拡充されました。操作も簡単で分かりやすい画面構成になっています。



(2) 高齢者対応事業

(実施期間:平成12年10月～平成13年3月)

1) 宅配・御用聞き事業の実施

商業者が集まりお客様の注文商品を受け、宅配するシステム。会議所が主催した商業者の勉強会「あきんど夢塾」に端を発した小売商業者の「わたらせ御用聞き」を支援する事業。

2) 高齢者を対象としたイベントの実施

「足利ドーム」を会場にイベントを実施し、各種のテナントブースを設置した他、ステージでは高齢者を対象としたイベントを実施した。

わたらせ御用聞き 配達中!

わたらせ御用聞き

41-0756

ガンバリます!

「わたらせ御用聞き」のチラシ



3) 高齢者の生活行動の調査・研究

超高齢化社会の到来で注目される介護・高齢者の市場情報を把握し、今後の施策等に活かすためアンケート調査を実施した。

4) 元気高齢者・中高年の市場開発とサービス事業の展開（e ビジネスも含む）

(3) Beautiful・Ashikaga・Square（BAS）事業

（実施期間：平成 12 年 11 月 3 日～平成 13 年 1 月 8 日（67 日間））

1) 足利買場（チャレンジ・モール）

の運営規模：90 坪(9 間×10 間)×3 棟
合計 270 坪

出店：物販系 10/飲食系 8/展示系 2/

その他(賃会議室・わたらせ TV)

運営：トータルマネジメントは足利まちづくり㈱が行う。

「足利買場」は足利商工会議所指導二課長高橋政美氏によると、商売を考えている人たちのチャレンジショップ運営の挑戦の場として、そこで育つようならば空き店舗に誘導をしようといったことも視野にあったそうである



2) 足利ドーム（多目的ホール）の設置とイベントの実施

足利ドーム（多目的ホール）は、数多くの人達の活用により、当市の顔である中心街が、新時代への予感を演出するステージとして、その個性と歩みかたを明確にすることを目的としている。開催期間中、集客と賑わい創出に貢献しドームが劇場となる感があった。

イベントは、「足利ミレニアムフェア」「えびす講ふれあい」「びっくり市」「足利学校さままつり」「まちづくりコンファレンス」「足利モダニズム遺産活用フォーラム」「通3丁目商店街振興組合初売サービス」など多彩なもので延べ入場者数 14 万人を超えるものであった。



大型店十字屋跡地約 6,600 m²が会場となった



連日賑わった足利買場

【 効 果 】

1．来客状況と事業の認知度

一大プロジェクトとしての BAS 事業は、公共と民間のパートナーシップにより、お互いが持てる資源の活用から市民と隣接商店街や地域の企業、地元大学が一体となって行なう「ボトムアップ」方式、地域の特性を生かした事業として市内外から大きな反響を呼び、各地の行政関係者や商業・民間団体の視察や市民の来場者が期待以上のものとなり大きな事業成果を上げることが出来た。

広報宣伝活動では、事業宣伝用チラシの新聞折り込みの他、自治会を通した配布や市内金融機関、官公庁窓口、各種催事会場での宣伝に努め、また、BAS 事業のコンセプト「美しい生き方この“まち”で見つけます。」のイメージポスターを作成し、JR 両毛線各駅や東武伊勢崎線の各駅に掲示する他、東京浅草駅にキャラバン隊をするなど、外部からの集客に努めた。さらに、メディア対応として、地元足利ケーブルテレビ(株)と連携しながら、事業内容の事前PRと結果を毎日放映する一方、タウン誌、ミニコミ誌、市内・中央記者クラブには情報の提供を徹底した他、リンクタワー21 事業のホームページを活用して、インターネットによる情報発信を行なった。

以上のことから 21 世紀を見据えたこの中心街活性化の BAS 事業取り組みは、マスコミ、メディア各界で大きな波紋を呼び、ニュースとして取り上げられた。

2．駐車対策と集客効果

駐車場対策では、会場内に 100 台の駐車場を確保したが、土曜、日曜、祭日には相当数の来場者が見込まれたため、中心街金融機関の駐車場を無料開放の協力を得て、臨時駐車場と

した。また、会場入場者の管理については、会場南北 2 ケ所入り口に赤外線センサー来客カウンター（出入自動計数装置）を設置、1 入場者と 1 退場者で 1 カウントの実数で計測、BAS 事業期間中（67 日間）で総入場者数 141,106 人、1 日平均 2,106 人が来場し、これが中心商店街等にも回遊して賑わいを創出した。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1．事業施行が 9 月以降になったため、事業実施時期が計画より遅れ、特に、足利買場（チャレンジモール）事業・足利ドーム（多目的ホール）事業では、期間が 67 日間、実施時期が冬場のみとなり買場内は、消防上の問題から暖房方法は非常に制約されたため、施設として寒いのが大きな欠点となった。温暖な時期であれば更に来街者は増加したと思われる。

2．施設面で会場を堀で囲んだことと、堀の高さ等では、市民から賛否両論が有り、主催者の考え方の周知、合意形成に時間が欲しかった。

【 教 訓 】

現在、各地商店街・商業者が抱える問題は、後継者不足、経営者の高齢化と長期不況による廃業、閉店による空き店舗の増加等により商店街は地盤沈下し、商業者の事業取り組み意欲は非常に希薄である。

商店街の活性化を含むまちづくりの方向としては、今までのように商業者をはじめ市民に行政が何をやるかでなく、市民が町のために何をやりたいのかのニーズを汲み上げ、その実現のために行政が環境を整備し支援することである。経済活動に適した環境が整えば民間はリスクを負ってでも喜んで投資し、まちを活性化すると思われる。

今、従来の行政主導のまちづくりからニーズやマーケット主導のまちづくりに転換することが求められている。

「まちづくり」から「まちおこし」への転換。始めにコンセプトやシーズやハードがあるのでなく、マーケットがあり、ソフトとニーズがまちをつくるのであり、住民や企業と行政のパートナーシップとその役割分担が見出されて始めて、最適なまちづくり「まちなか再生」・「都市の復権」が実現される。

【 関 連 U R L 】

足利商工会議所	http://www.watv.ne.jp/acci
リンクタワー 21	http://www.watv.ne.jp/^ashikaga
足利市	http://www.city.ashikagatochigi.jp/ashikaga/
足利まちづくりセンターVAN - NOOGA	http://www.jpww.co.jp/^vannooga/

入場無料 旧十字屋足利店跡地／ビューティフル・アシカガ・スタジアム

12/31 花火とコンサートで カウントダウン

大晦日～元旦

**世紀末・大盤振舞
& 新世紀カウントダウン**

第1部 PM7:00～
第2部 PM10:00～

足利買場で遊べるよ！
みんな来てね

12/29(土) 30(日)
AM10:00～PM8:00
Super Junk's Show

11(日) 元旦
足利買場は、休まず営業します

13(火) PM1:00～
足利ドーム
あしかがカ自慢腕相撲大会
一般参加者募集中 (申込先090-2472-7493)

16(金) 7(土) 8(日) AM10:00～
買場さよなら
売りつくしセール
お買上抽選会

お正月の
イベント

17(日) PM6:00～
幻の日本酒・焼酎
「新春さき酒会」(有料)

18(月) BAS直営店の商品・備品の
オークション

18(月) PM6:00～
PM8:00
DJとニューミュージックサウント
「ディスコ大会」

カウントダウン・年末年始販促チラシ

明治から昭和にかけての繊維物市場

『足利買場』復活へ

8月9日
朝日新聞

大正時代、足利買場の様子

「足利買場」は、明治から昭和にかけての繊維物市場で、大正時代には、大規模な建物で、多くの店が並んでいた。現在は、この建物の跡地に、新しい建物が増え、再び繊維物市場として復活しようとしている。

商工会議所
11月から2カ月間、中心街に
ショッピングモール設置
「足利買場」の復活を期す。中心街に、大規模なショッピングモールを設置し、繊維物の取引を促進する。また、中心街の活性化を図るため、様々なイベントを開催する。

「足利買場」の復活は、中心街の活性化に大きく貢献する。また、繊維物の取引を促進し、地域の経済を活性化させる。中心街の活性化は、地域の発展に不可欠である。中心街の活性化は、地域の発展に不可欠である。

9月25日
日刊工業新聞

「童夢」で30万人集客 中心街のにぎわい復活へ

「童夢」は、中心街の活性化に大きく貢献する。また、繊維物の取引を促進し、地域の経済を活性化させる。中心街の活性化は、地域の発展に不可欠である。中心街の活性化は、地域の発展に不可欠である。

「足利買場」の復活は、中心街の活性化に大きく貢献する。また、繊維物の取引を促進し、地域の経済を活性化させる。中心街の活性化は、地域の発展に不可欠である。中心街の活性化は、地域の発展に不可欠である。

足利買場の復興計画のイメージ

「織物の街」のにぎわい復活へ

足利買場の復興計画のイメージ

大型テントの「ドーム」も出現

「足利買場」の復活は、中心街の活性化に大きく貢献する。また、繊維物の取引を促進し、地域の経済を活性化させる。中心街の活性化は、地域の発展に不可欠である。中心街の活性化は、地域の発展に不可欠である。

「足利買場」を再現

「足利買場」の復活は、中心街の活性化に大きく貢献する。また、繊維物の取引を促進し、地域の経済を活性化させる。中心街の活性化は、地域の発展に不可欠である。中心街の活性化は、地域の発展に不可欠である。

9月31日
東京新聞

明治から昭和にかけての繊維物市場